



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

コード番号 8462 URL <http://www.fvc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今庄 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 赤松 典昭

TEL 075-257-2511

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	540	△18.6	107	—	97	—	17	—
27年3月期第2四半期	663	101.6	△374	—	△387	—	△86	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 88百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △223百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭		円銭	
28年3月期第2四半期	2.68		2.67	
27年3月期第2四半期	△14.02		—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
28年3月期第2四半期	3,302		2,661		7.1	
27年3月期	3,053		2,370		3.5	

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 235百万円 27年3月期 108百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当は、未定といたします。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

当社は、その事業特性から株式市場の影響を強く受け、また投資損失引当金繰入額・強制評価損等が業績に与える影響が大きいため、業績予想を合理的に行うことは困難であります。したがって、業績予想は行わず、決算後可能な限り迅速な開示をすることといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) ウィルグループファンド投資事業有限責任組合、sohatsu1号投資事業有限責任組合、除外 1社 (社名) アーバン・エフブイシー・ベンチャー育成投資事業有限責任組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	6,394,500 株	27年3月期	6,262,200 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,200 株	27年3月期	1,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	6,354,463 株	27年3月期2Q	6,152,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
5. 補足情報	11
(1) 投資の状況	11
(2) 投資先企業の上場状況	11
(3) 投資事業組合の状況	12
(4) 四半期連結財務諸表	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における株式市場は、4月に19千円ほどであった日経平均株価が、緩やかに21千円弱まで上昇しましたが、8月から9月にかけて16千円台まで落ち込み、その後17千円台で推移しているものの、先行きの不透明感が拭えない状況にあります。一方、新規上場市場においては、当第2四半期連結累計期間における新規上場社数が43社と、前年同期の28社と比べて約1.5倍に増加しており、新規上場を目指す企業群にとっては前向きな環境が継続しております。

このような環境の中、当社の投資先では2社が新規上場し、当第2四半期連結累計期間において、当該営業投資有価証券の売却益を計上したことにより、平成19年3月期第2四半期以来の営業黒字となりました。

安定収入かつ将来のキャピタルゲイン獲得に結びつく新規ファンドの設立については、(株)ウィルグループと共同でコーポレートベンチャーキャピタルファンドとしてウィルグループファンド投資事業有限責任組合を設立した他、(株)ブロードバンドタワーとの合弁により、IoT分野に特化したファンド運営を行う(株)IoT Sohatsu Venturesを設立し、同社が無限責任組合員となってsohatsu1号投資事業有限責任組合を設立しました。

なお、経費水準の抑制についても引き続き注力しており、前連結会計年度に続き、資金拠出を伴わない費用を除いた販売費及び一般管理費などの固定的な支出は投資事業組合からの管理報酬を中心とした安定的な収入によって賄っております。

当第2四半期連結累計期間における経営成績を見てまいりますと、新規上場した(株)中村超硬及び(株)クレストックの売却益を計上したこと、新規の投資損失引当金繰入が減少したこと等により、売上高は540百万円(前年同四半期663百万円)、営業利益は107百万円(同374百万円の営業損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17百万円(同86百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

(営業収益の内訳)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
営業投資有価証券売上高	641,026	96.5	512,941	94.9
コンサルティング収入	15,683	2.4	14,315	2.6
その他	7,192	1.1	13,259	2.5
合計	663,903	100.0	540,516	100.0

<営業投資有価証券売上高>

当第2四半期連結累計期間における営業投資有価証券売上高は、新規上場した(株)中村超硬及び(株)クレストックの売却はあるものの、前年同四半期の(株)ジェイエスエスの営業投資有価証券売上高には及ばず、512百万円(前年同四半期641百万円)となりました。

(営業投資関連損益の状況)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	増減
営業投資有価証券売上高	641,026	512,941	△128,085
営業投資有価証券売却額 (上場)	516,838	452,435	△64,402
営業投資有価証券売却額 (未上場)	112,355	48,369	△63,985
営業投資有価証券利息・配当金	11,832	12,135	303
営業投資有価証券売上原価	635,401	154,083	△481,317
営業投資有価証券売却原価 (上場)	539,787	150,000	△389,787
営業投資有価証券売却原価 (未上場)	99,437	36,283	△63,154
(係る投資損失引当金戻入額(△))	(△3,823)	(△32,200)	(△28,376)
減損等	49,046	332,764	283,718
(係る投資損失引当金戻入額(△))	(0)	(△197,196)	(△197,196)
投資損失引当金繰入額	199,006	△22,299	△221,305
営業投資関連損益	△242,428	245,588	488,016

(注) 当第2四半期連結累計期間末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は、30.8%(前連結会計年度末35.7%)となりました。

<コンサルティング収入>

当第2四半期連結累計期間におけるコンサルティング収入による売上高は、14百万円(前年同四半期15百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産、負債及び純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、3,302百万円(前連結会計年度末3,053百万円)となりました。その内訳は流動資産3,262百万円(同3,011百万円)、固定資産40百万円(同42百万円)です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、641百万円(同683百万円)となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益17百万円を計上したこと、資本金及び資本剰余金が計110百万円増加したことにより、2,661百万円(同2,370百万円)となりました。なお、純資産には投資事業組合の組合員の持分である非支配株主持分等が含まれるため、これらを控除して算出した自己資本は235百万円(同108百万円)、自己資本比率は7.1%(同3.5%)に増加しました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「キャッシュ」という)は、前連結会計年度より506百万円増加し、1,708百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは256百万円のキャッシュインフロー（前年同四半期552百万円のキャッシュインフロー）となりました。主な内訳は次のとおりであります。（注：△はキャッシュアウトフロー）

・投資実行による支出	△100百万円
・売上等による収入	538百万円
・営業投資有価証券（社債）の償還収入	2百万円
・人件費及び経費の支出	△173百万円
・その他の収支	△11百万円

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは80百万円のキャッシュインフロー（同46百万円のキャッシュインフロー）となりました。これは主に、投資事業組合における定期預金の払戻し80百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは169百万円のキャッシュインフロー（同302百万円のキャッシュアウトフロー）となりました。これは主に、非支配株主からの払込みによる収入126百万円、新株予約権の行使による収入109百万円、借入金の返済42百万円、非支配株主に対する分配金の支払23百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、業績予想を行っておりません。詳細は、サマリー情報「3. 平成28年3月期の連結業績予想」のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、ウィルグループファンド投資事業有限責任組合を設立したため、特定子会社として連結の範囲に追加しております。

第2四半期連結会計期間において、(株)IoT Sohatsu Venturesを設立したため、連結子会社として連結の範囲に追加しております。また、当該連結子会社である(株)IoT Sohatsu Venturesが無限責任組合員としてsohatsu1号投資事業有限責任組合を設立したため、特定子会社として連結の範囲に追加しております。そのほか、当社の特定子会社であったアーバン・エフブイシー・ベンチャー育成投資事業有限責任組合が全財産の分配を完了したため、連結の範囲から除外しております。

この結果、平成27年9月30日現在では、当社グループは、当社、子会社22社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

1. 会計基準等の名称及び会計方針の変更の内容

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分へ  
の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年  
度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

2. 経過措置に従った会計処理の概要等

該当事項はありません。

3. 会計方針の変更による影響額

当該改正後の会計基準等の適用による影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社には、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないながら、前連結会計年度まで通算して9期連続  
の営業損失を計上し、当社が将来にわたって事業活動を継続する前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在して  
おります。しかしながら、当社が前連結会計年度までに計上いたしました損失の主な要因は、当社が管理・運営する  
投資事業組合において発生している営業投資有価証券売却損失及び投資損失引当金繰入等であり、これらの損失及  
び費用は、投資事業組合において発生しているため、資金流出を伴わないことから、継続企業の前提に関する重要  
な不確実性は存在しないものと考えております。ただし、投資事業組合において発生しているこれらの損失及び費  
用は、自己資本の毀損を通じて当社の信用力や上場維持、今後の事業展開等に悪影響を及ぼす可能性があります。  
そこで当社では、当社の本業であるベンチャー投資事業を補強し、かつ市場環境の変化に過度に左右されない収益  
構造の実現に寄与する新規事業の拡大を進めております。これにより収益力を強化することと合わせて、引き続き  
経費水準を抑制することで、継続的な営業損益の黒字化を図ります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,282,061	1,708,081
営業投資有価証券	2,666,666	2,233,399
投資損失引当金	△951,705	△687,735
その他	22,214	16,211
貸倒引当金	△7,503	△7,495
流動資産合計	3,011,733	3,262,460
固定資産		
有形固定資産	4,599	3,963
無形固定資産	9,490	8,358
投資その他の資産	28,058	27,692
固定資産合計	42,148	40,014
資産合計	3,053,881	3,302,474
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	85,380	85,380
預り金	11,898	6,592
未払法人税等	11,824	10,035
賞与引当金	5,473	14,050
その他	25,878	23,827
流動負債合計	140,455	139,886
固定負債		
長期借入金	511,395	468,705
退職給付に係る負債	31,606	32,761
繰延税金負債	16	42
固定負債合計	543,018	501,509
負債合計	683,473	641,396
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,065,411	2,120,518
資本剰余金	779,861	834,969
利益剰余金	△2,735,079	△2,718,064
自己株式	△2,172	△2,172
株主資本合計	108,021	235,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	87
その他の包括利益累計額合計	33	87
新株予約権	3,106	6,192
非支配株主持分	2,259,246	2,419,548
純資産合計	2,370,408	2,661,078
負債純資産合計	3,053,881	3,302,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>売上高</b>		
営業投資有価証券売上高	641,026	512,941
コンサルティング収入	15,683	14,315
その他の売上高	7,192	13,259
売上高合計	663,903	540,516
<b>売上原価</b>		
営業投資有価証券売上原価	688,271	519,048
投資損失引当金繰入額又は戻入額(△)	195,183	△251,695
その他の原価	93,709	103,131
売上原価合計	977,164	370,484
売上総利益又は売上総損失(△)	△313,260	170,031
販売費及び一般管理費	61,282	62,511
営業利益又は営業損失(△)	△374,543	107,519
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	431	282
補助金収入	-	4,414
その他	1,008	550
営業外収益合計	1,440	5,247
<b>営業外費用</b>		
支払利息	12,935	9,797
新株予約権発行費	-	5,022
その他	1,853	544
営業外費用合計	14,788	15,364
経常利益又は経常損失(△)	△387,892	97,402
<b>特別利益</b>	-	-
<b>特別損失</b>		
事務所移転費用	357	636
固定資産除却損	0	35
特別損失合計	357	672
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△388,249	96,730
法人税、住民税及び事業税	6,154	8,501
法人税等合計	6,154	8,501
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△394,404	88,229
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	△308,158	71,215
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△86,245	17,014

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△394,404	88,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171,242	53
その他の包括利益合計	171,242	53
四半期包括利益	△223,162	88,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,839	17,068
非支配株主に係る四半期包括利益	△210,322	71,215

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△388,249	96,730
減価償却費	1,519	1,731
受取利息及び受取配当金	△12,263	△12,417
支払利息	12,935	9,797
新株予約権発行費	-	5,022
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	738,200	433,266
投資損失引当金の増減額(△は減少)	195,183	△263,970
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,303	8,577
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,430	1,154
未収入金の増減額(△は増加)	10,322	5,371
前受金の増減額(△は減少)	3,091	△7,367
預り金の増減額(△は減少)	4,712	△5,306
その他	△5,521	△10,559
小計	563,663	262,029
利息及び配当金の受取額	12,082	12,447
利息の支払額	△12,885	△9,832
法人税等の支払額	△10,311	△8,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	552,549	256,336
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	50,000	80,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,800	-
敷金及び保証金の差入による支出	△1,400	△210
敷金及び保証金の回収による収入	1,369	376
出資金の払込による支出	△1,000	-
出資金の分配による収入	455	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	46,624	80,166
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△42,690	△42,690
新株予約権の発行による収入	-	3,696
新株予約権の発行による支出	-	△5,022
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	109,604
非支配株主に対する分配金による支出	△370,064	△23,040
非支配株主からの払込みによる収入	110,490	126,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302,264	169,518
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	296,909	506,019
現金及び現金同等物の期首残高	1,308,882	1,202,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,605,791	1,708,081

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月11日にマイルストーン・キャピタル・マネジメント㈱に第7回新株予約権を発行しており、当第2四半期連結累計期間において、当該第7回新株予約権及び当社役職員に発行している第5回新株予約権の行使により、132,300株の普通株式を発行しております。この結果、資本金が55百万円、資本剰余金が55百万円、計110百万円の株主資本が増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,120百万円、資本剰余金が834百万円、株主資本235百万円となっております。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

第7回新株予約権の権利行使

当社が平成27年5月11日にマイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に発行いたしました第7回新株予約権につき、平成27年11月4日に以下のとおり行使されております。

- (1) 行使新株予約権個数 5個
- (2) 交付株式数 60,000株
- (3) 行使価額総額 49,800,000円
- (4) 未行使新株予約権個数 54個
- (5) 増加する発行株式数 60,000株
- (6) 資本金増加額 25,032,000円
- (7) 資本準備金増加額 25,032,000円

5. 補足情報

(1) 投資の状況

当第2四半期連結累計期間における当社の投資実行の状況は、14社、104百万円（前年同四半期1社、3百万円）となりました。また、当第2四半期連結会計期間末における投資残高は72社、2,233百万円（前連結会計年度末67社、2,666百万円）となりました。

①証券種類別投資実行額

証券種類	投資実行額			
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	570	1	86,948	11
社債等	2,430	1	17,500	3
合計	3,000	1	104,448	14

(注) 1. 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。  
2. 金額及び投資企業数は、連結グループ間の取引を含めております。

②証券種類別投資残高

証券種類	投資残高			
	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成27年9月30日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	2,242,838	54	1,877,851	58
社債等	423,828	23	355,548	24
合計	2,666,666	67	2,233,399	72

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

(2) 投資先企業の上場状況

当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

当第2四半期連結累計期間において上場した投資先企業は、以下の2社であります。

	会社名	公開年月	公開市場	主要業務	本店所在地
国内 2社	株式会社中村超硬	平成27年6月	マザーズ	電子材料スライス周辺事業、特殊精密機器事業、化学繊維用紡糸ノズル事業	大阪府
	株式会社クレストック	平成27年7月	JASDAQ (スタンダード)	国内外における取扱説明書等の各種ドキュメントの企画・制作・翻訳・印刷事業および梱包資材設計・BPOサービス事業	静岡県

(3) 投資事業組合の状況

当第2四半期連結会計期間末の当社グループが管理・運営する投資事業組合は21組合、22,387百万円(前連結会計年度末20組合、22,887百万円)となりました。

	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成27年9月30日)
投資事業組合出資金総額 (百万円)	22,887	22,387
投資事業組合数 (組合)	20	21

- (注) 1. 「投資事業組合出資金総額」は、コミットメント総額であります。  
 2. 以下1組合は、期間満了により解散いたしました。当第2四半期連結会計期間末においては清算期間中であるため、投資事業組合出資金総額及び投資事業組合数に含めております。  
 ・京都イノベーション育成投資事業有限責任組合(期間満了日：平成26年5月16日)

①出資金総額が増加した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が増加した投資事業組合は、以下の2組合であります。

(単位：百万円)

投資事業組合名	増加した出資金額	増加の理由
ウィルグループファンド投資事業有限責任組合	300	新規設立
sohatsu1号投資事業有限責任組合	200	新規設立
合計(2組合)	500	

②出資金総額が減少した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が減少した投資事業組合は、以下の1組合であります。

(単位：百万円)

投資事業組合名	減少した出資金額	減少の理由
アーバン・エフブイシー・ベンチャー育成投資事業有限責任組合	1,000	全財産の分配完了
合計(1組合)	1,000	

(4) 四半期個別財務諸表

四半期財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。

「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に従い作成しております。

①四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	403,879	430,109
営業投資有価証券	630,125	629,122
投資損失引当金	△226,142	△216,236
その他	29,541	74,624
貸倒引当金	△668	△771
流動資産合計	836,736	916,847
固定資産		
有形固定資産	4,599	3,963
無形固定資産	9,490	8,358
投資その他の資産	28,058	32,792
固定資産合計	42,148	45,114
資産合計	878,884	961,961
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	85,380	85,380
未払法人税等	11,824	10,035
前受金	95,776	87,230
賞与引当金	5,473	14,050
その他	30,916	28,534
流動負債合計	229,371	225,231
固定負債		
長期借入金	511,395	468,705
退職給付引当金	31,606	32,761
長期未払金	4,326	—
その他	16	42
固定負債合計	547,345	501,509
負債合計	776,716	726,741
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,065,411	2,120,518
資本剰余金		
資本準備金	779,861	834,969
資本剰余金合計	779,861	834,969
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,744,072	△2,724,374
利益剰余金合計	△2,744,072	△2,724,374
自己株式	△2,172	△2,172
株主資本合計	99,027	228,940
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33	87
評価・換算差額等合計	33	87
新株予約権	3,106	6,192
純資産合計	102,167	235,220
負債純資産合計	878,884	961,961

②四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高		
投資事業組合管理収入	150,014	194,609
営業投資有価証券売上高	221,239	15,233
コンサルティング収入	15,683	16,426
その他の売上高	4,611	2,468
売上高合計	391,549	228,739
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	248,803	32,297
投資損失引当金繰入額又は戻入額(△)	10,130	△9,905
その他の売上原価	133,629	108,984
売上原価合計	392,562	131,376
売上総利益又は売上総損失(△)	△1,013	97,362
販売費及び一般管理費	56,756	62,072
営業利益又は営業損失(△)	△57,770	35,290
営業外収益	1,120	5,090
営業外費用	16,083	15,364
経常利益又は経常損失(△)	△72,732	25,016
特別利益	—	—
特別損失	357	672
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△73,089	24,344
法人税、住民税及び事業税	4,767	4,646
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,857	19,698